

2024 年度第 6 回 N P O 法人共同保存図書館・多摩理事会

1 日 時：2024 年 9 月 2 日（月） 午後 8 時 00 分から

2 方 法：ZOOM アプリを媒介にしての遠隔会議

3 議決権のある理事：9 名

出席者：座間直壯、雨谷逸枝、清田義昭、小池信彦、齊藤誠一、田中ヒロ、中川恭一、堀 渡

欠席者：保坂一房

（1）第 1 号議案 会員の動向について

【報告】

- ・ 9 月 2 日（本日）現在
- ・ 正会員：個人 77、団体 2（計 79） ・ 賛助会員：個人 27、団体 2（計 29）
合計：個人 104、団体 4（総合計 108 名・団体）
- ・ 第 3 回理事会（5 月 21 日）の報告内容から変化はない。

（2）第 2 号議案 締切時の応募状況を踏まえての第 2 回多摩地域ライブラリアン講座の対応について【報告・討議】

【報告と提案】

- ・ 第 2 回多摩地域ライブラリアン講座は「多摩地域の公共図書館職員及び多摩デポの会員」を受講対象、「定員 12 名」として 7 月初旬から受講者を募集してきた。
- ・ 8 月 31 日の締切を過ぎたが、応募は 3 人にとどまっている。
- ・ 予定では締切後に受講者を決定し、受講者には 9 月 5 日からはオンデマンド・コンテンツを公開して、講座を開始することになっている。
- ・ 想定していた応募者数との乖離が大きいため、この間の報告と提案を行い今後の対応について討議してもらうため、臨時に理事会を開催した。

【報告と提案】

1 行ってきた P R

- （1） 館長会全体会での説明とチラシ配布、職員への周知の依頼（7 月 10 日）。
- （2） 『多摩デポ通信』第 68 号に掲載、チラシを同封し各図書館に送付（7 月 29 日）。
- （3） H P にチラシ、『通信』に掲載、告知（7 月末）。
- （4） 図書館を個別訪問し、館長及び職員にチラシを渡す（8 月上旬）。
- （5） 個別に受講案内の勧誘。
- （6） 多摩デポ会員へは、ML を使って紹介と応募の案内（7 月と 8 月の 2 回）。

2 応募状況

締切を過ぎた時点で応募者 3 名。（内訳は、多摩地域の公共図書館職員 2 名。多摩デポ会員 2 名。1 名は多摩地域の公共図書館職員で、会員でもある方）

3 講座開催への対応について（提案）

応募が少ないので会計の課題が生じる恐れがあるが、実施を見合わせることはせず、講座は実施したい。一ヶ月間、さらに募集期間を延長して応募者を増やす努力をする。

4 募集期間を一ヶ月延長する場合の具体的な対応

- (1) 既に応募した方には、予定どおり 9 月 5 日までに受講決定の通知と「受講者用の事務連絡 No. 1」を送付する。
- (2) オンデマンド・コンテンツの公開は予定どおり 9 月 5 日から行い、受講を開始できるようにする。
- (3) 一方、3 名の応募があることも伝えながら、多摩地域の図書館関係者に再度、声をかける。応募がありそうな図書館を訪問し説明を行う。また会員にも個別に呼びかけてみる。
- (4) 募集期間の延長により、これからの応募者はオンデマンド・コンテンツの視聴期間が短くなるが、課題の提出期限は 12 月 15 日のため、10 月から視聴開始しても 2 ヶ月以上の期間はある。
- (5) 当初、受講者を 3 名程度ずつに分けて行う予定だったワークショップについては、グループ人数の再検討を行う。

【説明】

- ・応募資格の昨年度との違いは、多摩地域の公共図書館職員だけでなく多摩デポ会員を加え、範囲を広げている。定員は昨年度と同じ 12 名。昨年度の応募は 10 名で、10 名の受講者で行った。
- ・応募がなければ始められないが、3 名の応募があったので実施したい。
- ・募集を 1 ヶ月延長すればオンデマンド・コンテンツの視聴期間が短くなるが、受講には、そう無理はないのではないか。
- ・ただ応募が増えなければ、ワークショップのやり方は再検討したい。経費を再検討する必要が出てくるが、理事の意見を聞いて決定したい。

【討議】

- ・応募の一人から最終レポートまで行く自信がない。聴講という形はとれないかという相談があった。最終レポートが未提出とか欠席をどの程度許容するかという想定も考える必要があるかもしれない。
- ・別の方だが、多摩地域の図書館職員ではないが会員なので今年度は応募できたという人がいた。今は異動で公共図書館にいないが、この機会を積極的に生かしたいという。こういう参加の方がいることも、紹介すれば呼び水にはなると思う。
- ・とにかく実施する方向で進めてもらいたい。府中市の目録作業のボランティアに参加している方なども、声をかけると受講してもらえるのではないか。
- ・提案に賛成。多摩地域の現役職員にはもう少し参加して欲しい。
- ・指定管理者の図書館の職員が前は 3 人参加されたが、今回は応募されていない。
- ・現場では児童サービスやレファレンス、著作権問題などの研修への関心や希望が多い。

しかし、この講座はそういうのとは違う企画だ。

- ・現在の応募者は全てベテランの方。ある程度経験を積んだ層が、リフレッシュしながら将来を考えて力を蓄えるために受講したいというような。40 代以上のベテラン層がちゃんと応募してきてくれた感じがする。
- ・聴講の問題ですが、講座の後半は、職場に持ち込みたい企画を考え質疑を受けながらまとめ、発表する企画。それをその後、最終レポートとして文章化する。単に講義の内容を受け取る講座とは違う。
- ・聴講の話は、ノーマルな受講生として受入れ、できるだけやってもらいたいと願う。それでも及ばない場合は、その時に考えればいいかな。
- ・応募した3人は早急に受入れ連絡し、予定どおり5日からオンデマンド・コンテンツを公開して受講してもらう。募集期間の延長は、新たなチラシは作らずメーリングリストとホームページで「まだ募集中」という形でいいかと思う。
- ・各図書館への連絡は送ると郵送料もかかる。当てのある図書館に行き職員に話をするのがいい。行った先で渡す簡単な文書は用意するが、全部に送るのではなくてもいい。
- ・この件は理事の了解が得られたので、提案どおり進める。

(3) その他、情報交換

- ・特になし

【多摩デポ関係記事】

- ・特になし

【共同保存図書館関連論文、記事】

- ・特になし

【今後の予定】

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| ★ 事務局会議(2024 年度第 9 回) | 9 月 27 日 (金) 午後 8 時より、(Zoom 会議) |
| ★ カーリルとの共同研究 定例会 | 9 月 16 日 (月) 午後 8 時より、(Zoom 会議) |
| ★ 次回理事会 第 7 回理事会 | 10 月 8 日 (火) 午後 8 時より、(Zoom 会議) |

議事録署名人の選任

議事録署名人として 2 名を選任することを諮り、清田理事、小池理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2024 年 9 月 2 日

議長

座間直壯

議事録署名人

清田義昭

議事録署名人

小池信彦